



ENJOY CARE LIFE  
**楽晴会**

発行所 社会福祉法人 楽晴会  
 発行人 齊藤 淳  
 企画編集 楽晴会広報委員会

〒033-0041  
 青森県三沢市大町二丁目6番27号  
 TEL:0176-53-3550  
 FAX:0176-53-2480  
 E-mail:wmaster@rakuseikai.or.jp

ふんわり、しっとり食感の  
美味しいうなぎでした♪



やわらかくジューシー、油がほどよく  
のった素敵なステーキ弁当。  
おいしかったです!

「飲みにケーション」を通しての、社員のコミュニケーションの向上を目的に、当法人では、年二回・職員一人当たり一回につき三千円の範囲で職員の親睦のための懇親会や、外部での交流会での補助を行ってきました。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会食を含むような職場の交流会を計画すること自体が困難な状況にありました。

そのような中で「皆でお弁当を頼んでコミュニケーションを図るのはどうか？」という案が持ち上がり、今回の実施となりました。

【青森県内拠点】  
 青森県内の拠点では、七月十九日～二十一日の三日間の中で各自の希望日に合わせ「きざん三沢」の『夏の特選お弁当』を配達して頂きました。

お弁当は「うなぎ弁当」「ステーキ弁当」「ハーフ&ハーフ弁当」の中から選ぶことが出来ましたが、一番人気は「ハーフ&ハーフ弁当」でした。

皆で感想を言い合う姿もみられ、例年とは一味違ったコミュニケーションの機会となりました。



【世田谷拠点】

世田谷希望丘ホームでは、福利厚生の一環として焼き肉とうなぎのお弁当を配りました。

柔らかいお肉に、ほっかほかの鰻！お弁当を手にした皆さんの、なんと良い笑顔！

今年度は新型コロナウイルスの影響で親睦会は開催できませんでしたが、ソーシャルディスタンスを保って皆で美味しくいただきました。

スタミナをつけ、全員で毎日元気に頑張りたいと思います！（照井）



# 特集

# 新事

# 業!

## 新・かけこみ寺

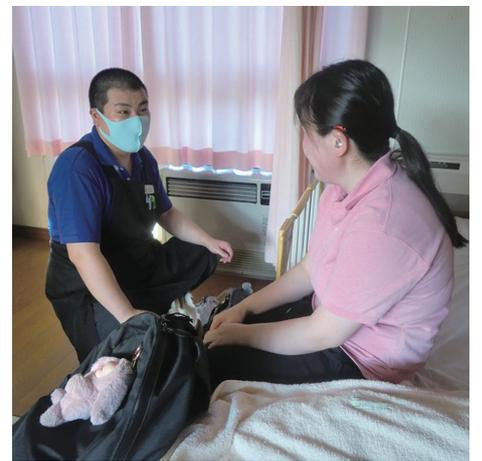
晴ヶ丘老人ホームは、昭和四十三年四月創設から今年五十二周年を迎えました。

既にご存知の方も多いと思いますが、晴ヶ丘老人ホームは老人福祉法に規定する老人福祉施設で養護老人ホームです。入所は介護施設のような「契約」とは異なり「措置制度」によってあくまで市町村の入所判定によって決まりますが、実は市町村が予算（措置費）を抑えるため「措置控え」があり施設の定員割れが問題になっています。全国老人福祉施設協議会の調査で、養護老人ホームの二〇一九年度の全国平均入所率が89・9%で平均を下回る施設が三割を占めることがわかりました。

当施設もここ数年定員割れが顕著で、現在定員七〇名ですが昨年度平均入所者は58・6名（入居率83・7%）と大幅な定員割れ状態となっています。養

護老人ホームの存在意義が問われていると感じている最中、昨年七月に厚労省より養護老人ホームの空床を利用した『契約入所』を促進する旨の通達がありました。契約入所は、定員の20%の範囲内で認められるもので、対象者は「居住に課題を抱える者」が前提、一定程度の所得がある視覚障害者のほか、低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子供、外国人等、住宅確保要配慮者となっています。これを受けて早速、関係機関への周知を行い現場では受け入れ準備に取り掛かりました。最初の契約入所は、昨年九月に青森県社会福祉協議会からの相談で生活困窮の二〇代女性、精神疾患のある方で居住と就労支援をするというものでした。

措置入所は勿論、契約入所も断らないスタンスで受入れています。当然ながらこれまで高齢者支援を主としてきた介護の現場では、若い女性の突飛な言動に困惑したり対応に苦慮する場面が見受けられました。ある時、入所者本人から「施設長、ここの職員は私の扱いがわからないみたい」とストレートに言われたのです。私は正直に、職員も同じ人間だから悩み考えながら向き合っていると伝えました。それから徐々にですが歩み寄ることが出てきます。この件で、支援する側、される側という立場ではなく一人の人として向き合い尊重し、共生していく姿勢が大切であると感じ取りました。その後契約入所の相談は様々ありましたが



現在まで八件の利用がありました。入所理由は、近隣住民とのトラブル、同居家族が急死・不在、同居家族からの虐待、要支援になり介護保険施設退所、独居で体調不良等です。

さらに今年度は、三沢市から「障害者緊急時ステイ事業」の受託を行っています。こちらは、知的障害者及び精神障害者が家庭事情、緊急の理由により居宅において生活する事が困難となった場合に、一時的に宿泊場所を提示し、支援するというものです。こちらも数件相談がありました。これまでも一件、親御さんが急死された二〇代の知的障害の男性を受入れ、次の施設が決まるまでの約二ヶ月間支援しています。

### 晴ヶ丘老人ホーム契約入所の料金について 2020.04.01~

- (1) 対象者  
 <居住に課題を抱える次の者>  
 ① 低額所得者(月収15.8万円(収入分位25%)以下)  
 ② 被災者(発生後3年以内)  
 ③ 高齢者  
 ④ 障害者  
 ⑤ 子ども(高校生相当まで)を養育している者  
 ⑥ 住宅の確保に特に配慮を要する者として国土交通省令で定める者  
 \*外国人等(条約や他法令に、居住の確保に関する規定のある者を想定しており、外国人の他、中国残留邦人、児童虐待を受けた者、ハンセン病療養所入所者、DV被害者、拉致被害者、犯罪被害者、矯正施設退所者、生活困窮者等
- (2) 料金について  
 ① 居住費……1ヶ月 30,000円(相部屋の場合は20%引き・夫婦の場合は一人当たり50%引き)  
 ※1ヶ月未満の入居の場合は日割り計算 1日あたり1,000円  
 ② 光熱水費……1ヶ月 10,000円(相部屋の場合は20%引き・夫婦の場合は一人当たり50%引き)  
 ※1ヶ月未満の入居の場合は日割り計算 1日あたり330円  
 ③ 食費……1ヶ月(30日の場合) 43,500円  
 1日 1,450円(朝食 410円、昼食 550円、夕食 490円)  
 ④ サポート料……介護以外の生活全般のサポートを致します。
- |                  | 日額     | 月額      |
|------------------|--------|---------|
| a 高齢福祉年金・生保      | ¥500   | ¥15,000 |
| b 課税所得80万円以下     | ¥500   | ¥15,000 |
| c 課税所得80~(非課税世帯) | ¥1,200 | ¥35,000 |
| d 課税所得           | ¥2,300 | ¥70,000 |
- ※月額は固定金額です
- ⑤ その他自己負担……以下の通りです。  
 日用品費、介護用品費、特別な食事の提供、金銭保全管理サービス、基準寝具以外のクリーニング代等。受験、外出時の移送費、その他通常の支援以外のサービス。  
 ※外出支援の要請があった場合に要する費用は、以下の通りです  
 \*片道15分以内 600円 \*片道15分~1時間 1,000円 ※交通距離の場合は別途相談

制度の狭間にいる方が多くいらっしゃる方が多くなりました。そして今後益々、社会的課題を抱える人の需要は多くなると感じています。

晴ヶ丘老人ホームは今後も、施設の幅広い機能を活かし、地域の拠点として安心と信頼される施設を目指します。

(駒井)



# ポイス新事業 「親なき後」障害者支援

療育・相談センターポイスでは、令和二年四月一日から新規事業である三沢市地域生活支援拠点の一環としての「親なき後支援事業」の委託を受けています。地域生活支援拠点等の整備は第四期障害福祉計画において国の指針として二〇一七年までに整備することを求めています。全国的に整備が進んでいない状況を勘案し現在の第五期障害福祉計画で整備を目指していたものです。

障害者等の重度化・高齢化や「親なき後」に備えると共に、地域移行を進めます。「重度障害者にも対応できる専門性を有し、地域生活において、障害者やその家族等の緊急事態に対応を図るもので(一)緊急時の迅速・確実な相談支援の実施及び短期入所等の活用、(二)体験を通じて、施設や親元から共同生活援助・一人暮らし等への生活の場の移行をしやすくする支援体制を整備、の二つを目的としています。

新規事業の親なき後支援事業は、「親なき後」問題、「八〇五〇問題」「八〇歳の親に対して五〇歳の子供」の支援が目的で全国的に深刻化しているのが現状です。

国の調査では、四〇歳〜六十四歳までの引きこもりの方が六十一万人いるという調査結果もあります。又、障害のある方の高齢化による重度化の問題、障害のある方が住み慣れた地域で「親なきあと」も安心して暮らしていけるよう様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みを構築する必要があります。三沢市で県内初の試みで実施しています。

事業の内容は、①地域生活コーディネーター：障害のあるお子さんがいる親(三沢市の調査で69%が家族と暮らしている)と回答)にとって、自分たちが支えられなくなった時のお子さんの生活がどうなるかは、大きな心配事です。いざという時に、十分な準備をしないままお子さんを地域に残すことにならないように、コーディネーターが将来の自立生活に向けたサポートを行います。②緊急時の電話相談：障害のある本人又は、その家族が対象で「眠れなくて、不安になった」「孤独で不安。誰かの声を聞きたい」「休日、家族といたからお互い気まずくて、具合が悪くなりそう」など相談は、二十四時間三六五日電話対応をする。③障害者緊急時ス

テイ事業：同居するご家族の急な入院や遠方での冠婚葬祭、一時的に家族と離れて休みたいなどの理由で、障害のある方が自宅での生活が難しい時にご利用できるものです。三つの支援は、知的障害、精神障害の方、登録制、全て料金無料で実施する事業です。又、障害支援区分の認定の有無にかかわらず支援することになっています。

七月末時点で二十三件の登録があり訪問、相談、情報提供などを行っています。緊急時ステイについては、晴ヶ丘老人ホームで緊急時ステイを受け入れていただき、無事ご本人が新たな施設入居までの期間を生活できたケースもあります。

障害のある方だけではなく、ご家族も認知症などの疾患を抱えているケースや引きこもりで食事以外は部屋で過ごしているなど、訪問してみるとご家族の悩みも多く、支援が必要な状態であると実感しており、多岐にわたるケースでは、関係機関との連携、生活困窮者への支援、児童虐待ケースへの対応など今後色々な社会資源を検討する必要があります。三沢市で困っている方の取りこぼしのないよう支援していきたいと思えます。

また、障害者支援施設がない三沢市では緊急時ステイの受け入れ事業所として高齢者施設が障害者支援も可能となるように研修会の実施もしていきたいと思えます。

(吉田)

## 《お問い合わせ・利用申し込み》

社会福祉法人楽晴会  
療育・障害者相談センターポイス  
三沢市障がい者地域コーディネート事業  
担当：吉田

TEL：0176-53-2241  
FAX：0176-53-2240



2020年(令和2年)3月14日(土曜日)

### 「親なき後」障害者支援

三沢市 県内初 緊急時ステイなど

自立事業や24時間相談も

三沢市は昨年、障害者や高齢者が安心して暮らすための事業を推進する。市内で、県内初となる「親なき後」支援事業を実施する。市内で、県内初となる「親なき後」支援事業を実施する。市内で、県内初となる「親なき後」支援事業を実施する。

令和2年3月14日  
デーリー東北掲載

# 楽晴会今年度

# 採用活動にて

去る八月十五日、今年度も、デリー東北リクルートラウンジが開催されました。今年度で三度目の開催となり楽晴会も三度目の参加となります。UターンやIターン、大学生の地元就職などを応援するためのイベントです。

昨年このイベントを皮切りに様々な企業説明会に参加し、多くの求職者の方とお会いする機会をいただきました。その中で、皆さん「地元で就職したい」「地元へ帰って就職したいが、実際に同じような職業で働けるのか」を心配する声が聴かれました。その後、実際に職場見学などに来ていただき、そこから応募につながった方や、そういった活動から楽晴会を知っていた方、また、お仕事説明会に足を延ばしていただいた方もいらっしやいました。



障害者就労  
トライアルセンター・ボイス  
施設見学者の様子



採用活動を通して、様々な方にインターンシップや職場体験、職場見学をしていただきました。実際に働いている自分の想像、自分が働く職場の雰囲気を感じることや、楽晴会が行っているサービスには何があるのかをたくさんの方々を知っていただく機会になりました。

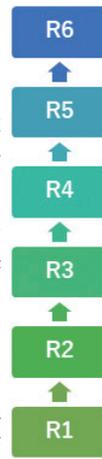
結びになりますが、インターンシップや職場見学、各種企業説明会等で、各事業所の皆様に様々な点でご配慮をいただきました。本当にありがとうございます。また、今後もしよろしくお願ひいたします。

(橋本)

## 階層別研修断行!

### 青森R1研修

楽晴会では個々のスキルなどをキャリアアップシートに基づき各階層に区分する極めて明快な仕組みがあり、各階層すべてで研修を行っております。今回ご紹介する研修のR1とは左図のとおり階層の初段階に位置します。



そして本年度の青森エリアのR1研修は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除後の六月二十三・二十四日に、また初の試みとして、業務の中心にあり集合研修参加の難しい在籍の長い職員に限りPCを活用した自己研修を開講致しました。

六月二十三・二十四日開講の青森エリアR1研修は三沢福祉センターにて受講職員二十名で開催いたしました。

理事長や理事をはじめ事業所長や拠点長など当会の専門分野エキスパートが講師として登壇、講義項目はケアの信条、介護、看護、高齢者、障害者、制度、ISO、MRなど多岐に渡ります。



## 第1回R1研修



講義では各講師が工夫を凝らして、テキストに準じながら最新情報や情勢やご自身の経験など鮮度とユーモアあふれる講義をすすめ、受講職員は真剣に耳を傾け、時に笑い、うなずきながら必死にメモを取る姿が印象的でした。

自己研修では二十五名の職員が受講し、自己で各講義資料を基に学習、質問や考えを記入した講義シートを提出する方式としました。

当初は初の試みのため不安もありましたが、講義資料をしっかりと読み学習された講義シートが次々と届き、普段からの真摯な姿勢があるからこそ研修でもスタイルを問わず良い結果を生むのだと感じました。

そして感染リスクが高く研修を延期していた東京エリアに関しては講義を収録しオンライン研修に近い形で開催することが決まり準備中ですが、こちらも実りある結果になればと思います。

(鵜川)

# 評議員会 テレビ会議

令和二年六月十二日、きざん三沢において、楽晴会評議員会が開催されました。

当日の会場内はソーシャルディスタンスを保ち、また、遠方にお住まいの評議員様二名には、リモートでご参加いただく等、新型コロナウイルスに配慮しての実施となりました。



# 成年後見 運営委員会

令和二年・成年後見運営委員会が開催されました。司法の分野として「あおば総合法律事務所」弁護士・熊谷清一様、学識経験者として「青森県立保健大学」教授・石田賢哉様、保健分野として「三沢市保健相談センター」主任保健師・齋藤三千代様、福祉・行政分野として「三沢市地域包括支援センター」係長・池田悦子様、「三沢市社会福祉協議会」課長・渡辺恵様、五名の委員をお迎えし、三名の被成年後見人と一名の被任意後見人の適法性を審査していただきました。



「あおば総合法律事務所」  
弁護士・熊谷清一様



「青森県立保健大学」  
教授・石田賢哉様

急速な高齢化が進む中、判断能力が不十分になった高齢者や障害者の財産を守ったり、介護保険等の様々な契約を支援したり、また楽晴会は身上監護にも力を入れております。

法人後見人として受任した四名の方々の一年間の記録を開示し、被後見人の利益は守られているか、事業運営の透明性・公正性・専門性は確保されているか等、審査して頂くものです。親族がないケースが殆どですので、生活にご不便は無いのか、法律的なこと、保健・福祉・行政の立場からご意見を伺い、被後見人が安心して安全に暮らしていけるよう、今後の活動に活かさせていただきます。

(中川)

# 後援会より 寄贈

平成三十年四月に東京都世田谷区に開設した、高齢者総合福祉施設「世田谷希望丘ホーム」へ、この度楽晴会グループ後援会より、紅白幕とカラオケセット一式を寄贈して頂きました。

カラオケは日々のレクリエーション活動で使わせて頂き、皆様に喜ばれております。

今後も各行事、日々の活動で大切に使用させて頂きます。

ありがとうございます。



《各拠点日報》

〔令和二年四月〜令和二年七月〕

【三沢拠点】

七月十日 ふれあいまつり

・感染対策をし、半年ぶりのイベント開催にお客様の喜ばれる姿、目の前のこの笑顔が私たちの活力になる」と感じた一日でした。



令和2年度ボランティア受入状況  
2020年4月〜2020年7月 (延べ人数)

拠点名	事業所名	個人	団体	計
晴ヶ丘	晴ヶ丘老人ホーム	3	4	7
	はるが丘デイサービスセンター	16	0	16
三沢	三沢老人ホーム	0	36	36
岡三沢	岡三沢コラボケアセンター	5	0	5
栄町	栄町ぬくもりの家	57	0	57
	栄町コラボケアセンター			
	三沢訪問看護ステーション	34	0	34
緑ヶ丘児童	緑ヶ丘児童デイサービスセンター	14	0	14
堀口児童	堀口児童デイサービスセンター	2	0	2
計		131	40	171

【松園拠点】

六月十日・十二日・十二日 バーベキュー

(松園デイサービス・スカイ)

七月七日 夏祭り

(松園ケアラウンジ・スカイ)

七月十八日 夏祭り

(松園グループホーム・スカイ)

【岡三沢拠点】

七月二十七日 バーベキューランチ

【栄町拠点】

五月二十九日 スイーツバイキング

七月二十七日 バーベキューランチ

(栄町ぬくもりの家)

【松原拠点】

五月二十四日 運動会

(松原ぬくもりの家)

七月二十七日 運動会

(松原コラボケアセンター)

【堀口児童拠点】

五月九日 じゃが芋植え

(児童三拠点合同)

七月十八日 プチピクニック

〜ホスピタルパーク散策&凧揚げ〜

【法人本部】

五月十四日 評議員 選任・解任委員会

五月二十一日 監査会

六月五日 後援会総会

六月十二日 評議員会



《御寄贈御礼》

〔令和二年四月〜令和二年七月〕

三沢市福祉事務所 様

● 手作りマスク 400枚

前平町内会交通安全母の会 様

● 手作りマスク 100枚



特定非営利法人 ピースウィンズ・ジャパン  
代表理事 大西 健丞 様

● 柔らか立体マスク 200枚  
京セラコミュニケーションシステム  
株式会社 様

● マスク 1箱

● 消毒液 1箱



キングラン株式会社 様

● 防護服・ゴーグル 6セット

六戸町商工会女性部 様

● タオル 103枚

青森県社会福祉協議会 様

● お米 36kg

● シチュールウ 50袋



上野 政衛 様

● フランスベッド 1台

杉澤 睦子 様

● 不織布マスク 300枚

富士 裕基 様

● 紙おむつ 27袋

工藤英貴美 様

● シャワーチェア 1台

中溝 晴代 様

● テイルトリクライニング車椅子

● 加湿器

ありがとうございました。

編集後記

今号はページ数を減らしての発行となりました。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願うと共に、お忙しい中、御協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。  
(苦米地)

少ないけどいい実践がありますよ！ハイ！  
(齊藤)